

2025年10月21日

株式会社イー・ラーニング研究所

## 「受験期における“非認知能力”の重要性に関する意識調査」

～約9割の親は非認知能力が進学後や社会生活でも活用されることに期待～

eラーニングに関するサービスの様々なコンテンツを提供する株式会社イー・ラーニング研究所(代表取締役:吉田智雄、本社:大阪府吹田市 以下、イー・ラーニング研究所)は、子どもがいる親世代を対象に「受験期における“非認知能力”の重要性に関する意識調査」を実施いたしました。

その結果、9割以上の親が受験において自己管理能力・やり抜く力などの非認知能力が良い影響をもたらすと考えていることが判明しました。また、非認知能力は学力向上にも「強く影響していると思う」と回答した親が約6割に迫り、親世代の非認知能力に対する重要性の認識が高いことが明らかになりました。

### 【「受験期における“非認知能力”の重要性に関する意識調査」概要】

調査方法 : 紙回答

調査期間 : 2025年9月3日(水)～9月27日(土)

調査対象 : 子どもを持つ親、親族に子どもがいる方 計444人

**※本リリースに関する内容をご掲載の際は、必ず「イー・ラーニング研究所調べ」と明記してください**

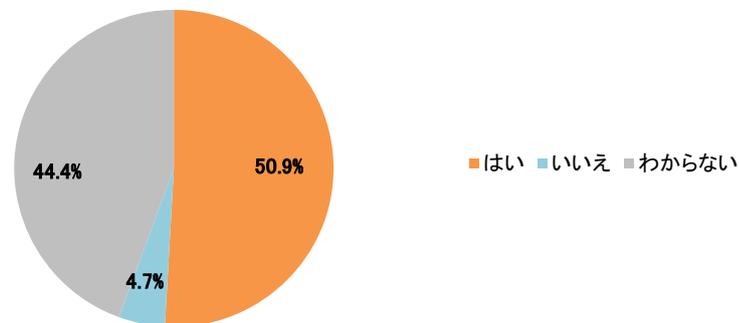
### 調査結果概要

- ① AO入試・推薦入試など人物重視の入試形態に「挑戦させたい」と回答した親が約半数！  
親が考える受験で重要な能力は「コミュニケーション力」と「協調性」。**  
⇒約半数の親が、人物重視の入試形態に子どもを挑戦させたいと思っていることが判明。また、子どもの受験を考える際に重視する能力は「コミュニケーション力」が7割強で最多となり、受験における非認知能力の重要性が明らかとなった。
- ② 非認知能力は学力向上に効果的！約6割の親が「強く影響する」と回答。**  
⇒非認知能力は学力向上に強く影響していると考えた親は約6割に達し、学力との関連性が強く認識されていることが判明した。
- ③ 非認知能力を高めるために家庭で最も意識しているのは「家庭内でのコミュニケーション」！  
約6割の子どもが努力や粘り強さで成果を上げた経験があり、家庭での関わりが成果に繋がる。**  
⇒非認知能力を高めるために家庭で意識していることの第1位は「家庭内でのコミュニケーション」となり、約6割にのぼった。過去に子どもが努力や粘り強さによって成果を上げた経験があり、努力や粘り強さといった力が成果に結びついていると考える親が約6割いることがわかった。
- ④ 約9割の親が非認知能力は受験で有用だとし、受験だけでなく社会で生きていくうえでも役立つと期待！**  
⇒9割以上の親が、非認知能力の高まりが受験に良い影響をもたらすと考えていることが判明した。さらに、受験を通じて身につけた非認知能力は進学後も役立つと約9割の親が期待を寄せており、一時的なスキルではなく、長く役立つ能力として、非常に高く評価されていることがわかる。

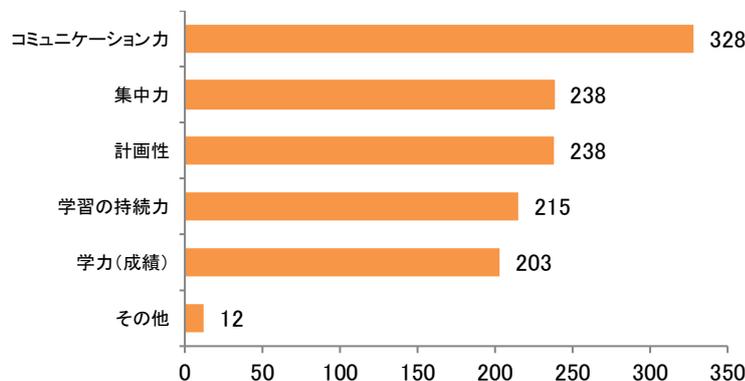
1. **AO入試・推薦入試など人物重視の入試形態に「挑戦させたい」と回答した親が約半数！  
親が考える受験で重要な能力は「コミュニケーション力」と「協調性」。**

子どもがいる親世代に「AO入試・推薦入試など人物重視の入試形態が注目されていますが、子どもに挑戦させたいと思いますか？<SA>」と尋ねたところ、「はい」(226)と回答した親は約半数にのびりました。一方で、「わからない」という回答も約4割を超えました。また、「子どもの受験を考える際、どのような能力を重視しますか？<MA>」という問いでは、「コミュニケーション力」(328)が7割強で最多となり、次いで「集中力」(238)、「計画性」(238)が続く結果となりました。さらに、「受験において、学力以外で合否を左右する可能性が高い要素は何だと思いますか？<MA>」という問いでは、「協調性」(300)が約7割で最も多く、「面接での受け答え」(273)が続きました。この結果から、単に学力だけでなく、「コミュニケーション力」や「協調性」などの、他者と関わり様々な状況に対応できる”非認知能力”も受験において非常に重要だと認識されていることがわかります。

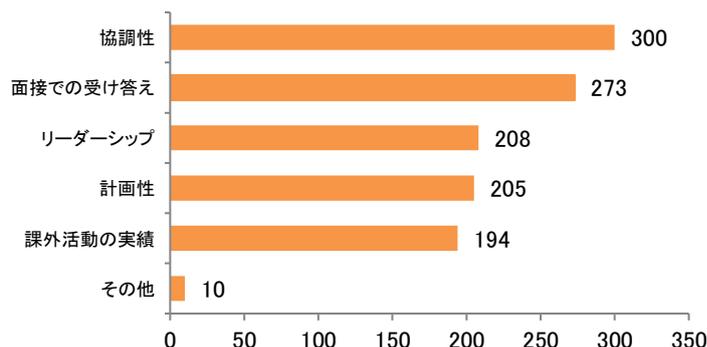
Q. AO入試・推薦入試など人物重視の入試形態が注目されていますが、  
子どもに挑戦させたいと思いますか？<SA=444>



Q. 子どもの受験を考える際、どのような能力を重視しますか？<MA=444>



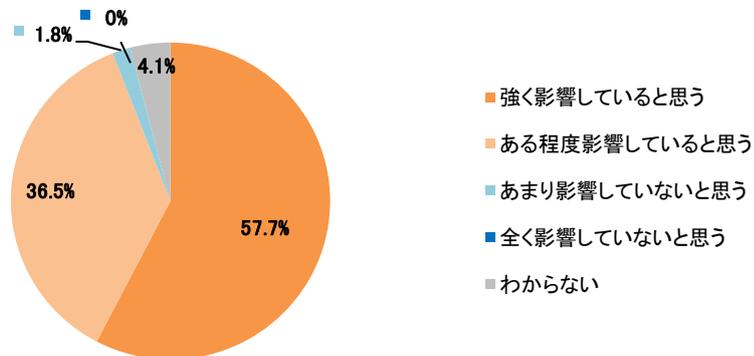
Q. 受験において、学力以外で合否を左右する可能性が高い要素は何だと思いますか？<MA=444>



## 2. 非認知能力は学力向上に効果的！約6割の親が学力向上に強く影響すると回答。

「子どもの非認知能力(自己管理能力・やり抜く力)は、学力向上に影響していると思いますか？<SA>」という問いに対し、「強く影響していると思う」(256)と回答した親は約6割となり、「ある程度影響していると思う」(162)と回答した人と合わせると、9割以上の親が影響を認めていることが明らかになりました。

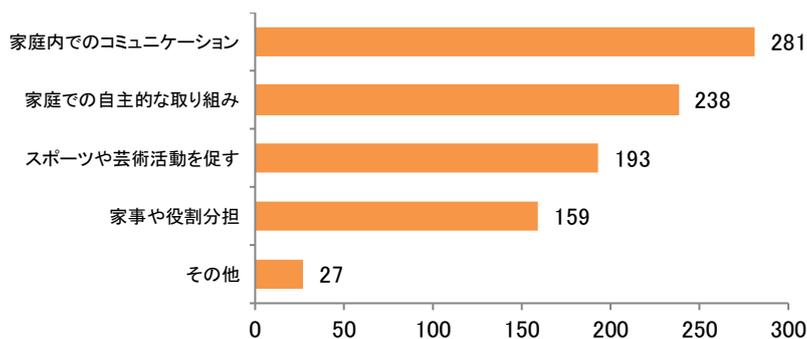
Q. 子どもの非認知能力(自己管理能力・やり抜く力)は、学力向上に影響していると思いますか？<SA=444>



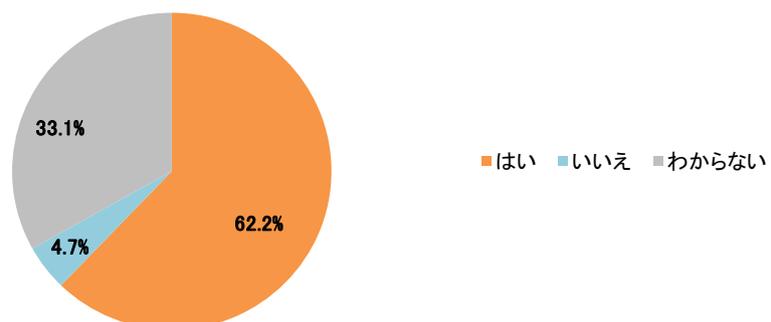
## 3. 学校での非認知能力を高めるために家庭で最も意識しているのは「家庭内でのコミュニケーション」！ 約6割の子どもが努力や粘り強さで成果を上げた経験があり、家庭での関わりが成果に繋がる

「子どもの非認知能力を高めるために、家庭で意識していることはありますか？<MA>」と尋ねたところ「家庭内でのコミュニケーション」(281)が最も多く挙がり、親子の対話を中心とした日々の関わりを重視する傾向が見られました。また、「過去に、子どもが努力や粘り強さによって成績や活動の成果を上げた経験はありますか？<SA>」という問いに対し、「はい」(276)と回答した親は約6割でした。これらのことから、努力や粘り強さといった“非認知能力”が子どもの成果に影響を与えていることが明らかになり、重要性が示唆されました。

Q. 子どもの非認知能力を高めるために、家庭で意識していることはありますか？<MA=444>



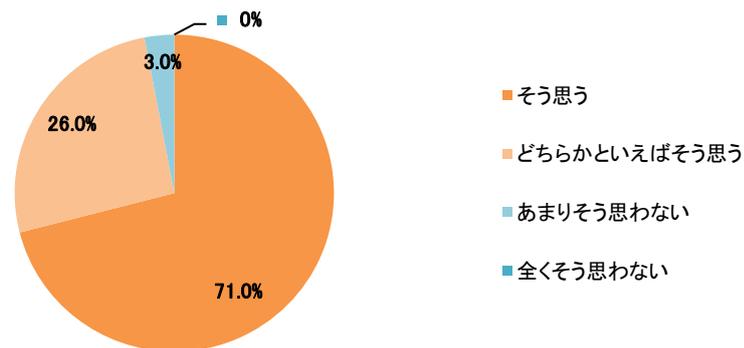
Q. 過去に、子どもが努力や粘り強さによって成績や活動の成果を上げた経験はありますか？<SA=444>



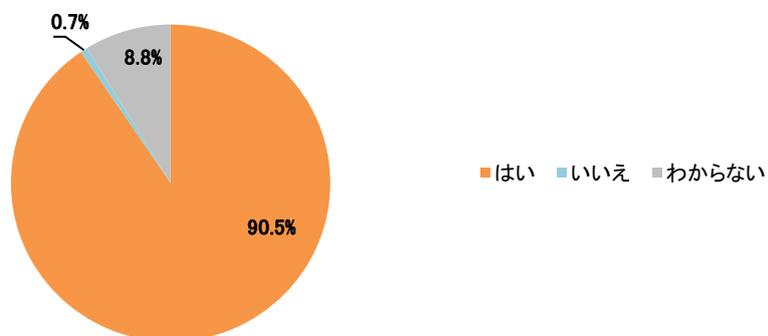
#### 4. 約9割の親が非認知能力は受験で有用だとし、受験だけでなく社会で生きていくうえでも役立つと期待！

「非認知能力が高まることは、受験においても良い影響をもたらすと思いますか？<SA>」と尋ねたところ、「そう思う」(315)と「どちらかといえばそう思う」(117)を合わせ9割以上の親が肯定的な見方を示しました。また、「受験を通じて身につけた非認知能力は、進学後や社会生活においても役立つと思いますか？<SA>」という問いに対し、「はい」(402)と回答した親は約9割でした。これらの結果から、非認知能力が受験期における一時的な力ではなく、進学後や社会生活においても子どもの成長を支える根幹的な力として、非常に高く評価されていることが明らかになりました。

Q. 非認知能力が高まることは、受験においても良い影響をもたらすと思いますか？<SA=444>



Q. 受験を通じて身につけた非認知能力は、進学後や社会生活においても役立つと思いますか？<SA=444>



#### 【『子ども未来キャリア』概要】

『子ども未来キャリア』は、子どものときから夢や目標を持ち、グローバル社会で必要となる知識と能力を育む、キャリア教育用ボードゲーム教材です。ボードゲームを通じた疑似体験と、スライド教材を活用した学習を組み合わせた「遊び×学び」を融合した内容で、主体的に楽しく学ぶことができます。

- URL : <https://mirai-career.jp/>
- 販売対象 : 全国の学童施設や学習塾、学校など、教育関係の企業・組織  
子ども向けの体験型イベントを開催される企業等とのコラボレーション
- 教材対象年齢 : 小学生・中学生・高校生 ※その他要相談



■学習テーマ

- ・「教育用！資産形成ゲーム」
- ・「教育用！コミュニケーションゲーム」
- ・「教育用！事業投資ゲーム」
- ・「教育用！ディスカッションゲーム」
- ・「教育用！おつかいゲーム」
- ・「教育用！情報推理ゲーム」
- ・「教育用！キャリアデザインゲーム」
- ・「教育用！多様性ゲーム」
- ・「教育用！SDGs ゲーム」
- ・「教育用！防災ゲーム」
- ・「教育用！チームワークゲーム」
- ・「教育用！リーダーシップゲーム」



【『スクールTV』概要】

『スクールTV』は、「学習習慣の定着」を目的とし、全国の教科書内容に対応した小・中学生向けの動画教育サービスです。約 1,000 本のオリジナル授業動画を配信し、自ら能動的に学習する「アクティブ・ラーニング」のメソッドを日本で初めて動画内に導入しています。

また、学習習慣が身についた子どもが、もう 1 つ上の目標を目指すために開始された学習コンテンツとして、現在、教科書や教材出版社など他社のドリルも提供しています。

■URL : <https://school-tv.jp/>

■利用料金 : 無料

有料プラン(「成績向上目的の学習コンテンツ」を有料で提供)

・スクールTV プラス: 月額 300 円(税込)

・スクールTV ドリル: 250 円(税込) ~ ※学習教材により異なる

■対象 : 小学生(1年生~6年生)、中学生(1年生~3年生)

■学習内容 : 小学校 1~2 年生: 算数

小学校 3~6 年生: 算数・社会・理科

中学校 1~3 年生: 数学・社会・理科・英語・国語

■サービス特徴 :

1.「授業動画が見放題」

- ・小・中学校の教科書に対応した授業動画が見放題
- ・単元の中で「重要ポイント」に絞り込み、テレビを見るような感覚で楽しく学習できる
- ・映像総数: 約 1,000 本

2.「やる気を育てる講師陣」

- ・有名大学の現役学生を講師として採用
- ・お兄さん・お姉さんのような親しみやすさを演出

全国教科書対応・アクティブラーニング  
**スクールTV**

<報道関係者各位>

3.「アクティブ・ラーニングメソッド採用」

- ・文科省が推進する主体的・対話的で深い学び「アクティブ・ラーニング」の視点を導入
- ・授業開始前の約5分間に「アクティブ・ラーニング動画」を採用し、子どもの興味を惹きつける
- ・定期的に質問を投げかけるなど適度に自分で考える機会を与えることで、「能動的」な学習が可能

**【株式会社イー・ラーニング研究所】**

名称 : 株式会社イー・ラーニング研究所

本社 : 大阪府吹田市江坂町1丁目23-38 F&Mビル 6F

東京支社: 東京都港区港南1丁目8-40 A-PLACE 品川 1F

代表者 : 代表取締役 吉田智雄

URL : <https://e-ll.co.jp/>